

R7心のアンケート集計 (%)

		小学校	中学校
①学校は楽しいか。	楽しい・まあまあ楽しい	86	↑95
	楽しくない・あまり楽しくない	14	5
②誰かの役に立っているか。	いる・少しある	76	71
	ない・あまりない	24	19
③授業がよくわかるか。	分かる・まあまあ分かる	↑90	81
	分からない・あまり分からない	10	19
④自信や自慢できることがあるか。	ある・少しある	↑93	↑93
	ない・あまりない	7	7
⑤いじめられたことがあるか。	ある	29	4
	ない	71	96
⑥いじめは続いているか。 (いじめがあると答えた人で)	いる	42	13
	いない	58	87
⑦いじめを見たり聞いたりしたことがあるか。	ある	18	8
	ない	82	92
⑧クラスにいじめを許さない雰囲気はあるか。	ある・少しある	↑73	↑64
	ない・あまりない	11	11
	分からない	16	25

令和七年度「心のアンケート」結果より

南関町教育長だより

道

第29号 R8.2.27

春が来ました。命の芽吹きを感じる季節です。



今日の論語

子の口く、「己の欲せざるごとろ、人に施すこと勿れ。」

先生は言われた、「自分の望まないことは、人にしむけないことだ。」

自分がされていやだと思うことを人に押しつけた時、押しつけられた人はどんな気持ちになるでしょうか。そのまま考えて行動することが、『思いやり』の行動であり、人間関係を築くうえで一番大切なことだと思います。

町内の全ての児童生徒を対象に実施しました。数値は百分率(%)で表しています。↑は令和六年度と比較して向上・改善がみられる項目です。

特にうれしかったのは「自分に自信や自慢できることがある」と答えた児童生徒が増加していることです。児童生徒自身の努力とともに家庭や学校で『認め・褒め・励ます』関わりができていいるからだと考えます。

逆に心配なことは、「学校が楽しくない」「いじめが続いている」「いじめを許さない雰囲気がない・あまりない」と答えている児童生徒がかなりの数存在していることです。

この結果を受けて、二月の校長会で次の取組を各小中学校にお願いしました。

① 「いじめが続いている」と答えた

児童生徒に対して解消の取組を早急に行うこと。併せて、取組後の経過観察をしっかりと行うこと

② いじめを許さない学校づくり、学級づくりを学校全体で進めること

③ いじめを受けた時の対処法をそれぞれの児童生徒が理解し、きちんと対応できる実践力を身に付けさせること

④ 児童生徒同士・児童生徒と先生の良好な関係を構築し、何でも相談できる雰囲気を醸成すること

教育委員会も学校と連携しながら児童生徒が安心して安全に過ごせる教育環境づくりを進めていきたいと思います。